マテリアル工学科 講座配属要件

4年次での講座配属（研究室配属）に関わる単位数等の要件は下記の通り。この要件を満たさない場合には、講座配属（研究室への配属）されないので注意すること。

（4年次には進級できるが、卒業研究に就けず、論文も作成できないため、卒業できない）

- 1) 全学教育科目について、卒業要件を全て満たしていること。
- 2) 工学部科目について、下記表に示す最低単位数を取得済みであること。なお、専門科目の必修と選択必修には条件（それぞれ注1と注2）が付されているので留意すること。

科目区分		講座配属要件
専門基礎科目		全て修得済み
専門科目	必修	6単位以上（注1）
	選択必修	16単位以上（注2）
	選択	規定なし
関連専門科目		規定なし

（注1）専門科目の必修

3年春学期「物理化学演習（1単位）」および3年秋学期「固体物理演習（1単位）」「マテリアル工学実験応用（2単位）」が含まれていること（これら3科目4単位に加えて2単位以上が必要であり、要件としては合計6単位以上必要であることに留意すること）。

（注2）専門科目の選択必修

3年春学期開講分から3科目6単位以上、かつ、3年秋学期開講分から3科目6単位以上が含まれていること（要件としては合計8科目16単位以上必要であることに留意すること）。

【補足注意事項】

- ・ 専門基礎科目はほぼ全て1～2年次に開講され、「マテリアル工学実験基礎」のみ3年春学期に開講されるが、講座配属要件は専門基礎科目については「全て修得済み」であるので、1～2年次開講の専門基礎科目のみならず3年春学期「マテリアル工学実験基礎」も必ず修得すること。
- ・ 講座配属要件と卒業要件には差がある。講座配属後、卒業要件に対して未修得の科目（例えば、専門の必修科目や選択科目、関連専門科目などで未修得の科目）については必ず修得すること。特に、春学期に開講される科目の修得漏れには注意すること（当然ながら、秋学期には開講されない）。